

## 平成 23 年度第 1 回図書館協議会概要

- 1 日時 平成 23 年 7 月 15 日 ( 金 ) 9 : 00 ~ 10 : 15
- 1 場所 市役所 3F-1 会議室
- 1 参加 委員 : 甲斐、穉吉、大林、高橋、土岐、立川、佐藤  
( 石井委員 所要にて欠席 )  
事務方等 : 寺岡教育長、本田生涯学習課長、溝部同  
参事、河村同課長補佐、柏木同課長補佐、中尾図書館  
館長、谷中図書館職員

### 1 議事等

#### ( 1 ) 教育長あいさつ

就任に対するお礼。挨拶が本日となったことの断り。  
一昨年の新図書館計画の頓挫。県下の状況。委員の広い  
見識から将来の別府市立図書館の姿について意見をいた  
だきたい等を骨子としてあいさつ。

#### ( 2 ) 委 員 紹 介

各委員自己紹介

教育長他の公務のため退席

#### ( 3 ) 職 員 紹 介

本田生涯学習課長から出席職員を紹介

### 議第 1 号 別府市立図書館協議会会長及び副会長について

- ・協議会会長・副会長選出について事務局から説明 ( 互選 )  
特に推薦等がないため事務局から案を提案  
前期の協議内容も関係するため事務局から前期と同じく  
会長に土岐委員、副会長に佐藤委員を提案  
別段質疑などなく全員一致で可決  
土岐会長から 将来の大きな展望 具体的な解決策として例え  
ば現在のビル内でのすみ分け等 職員体制 等という形で議論  
していけば等を概要としたあいさつ。  
佐藤副会長から出来るだけの協力をしていきたいとのあいさつ  
以後の進行は規定により土岐会長が議長となり進行

### 議第 2 号 別府市立図書館協議会協議事項について

- ・事務局長から提案した「別府市立図書館の目指す運営とサービ  
ス」の提案理由等について説明

配布資料に基づき協議会の性格・図書館奉仕等についての法的規定につき冒頭説明後

現在の図書館の課題は古い問題であるが解決へ至っていない解決に向けての訴求力が弱いのでは

添付資料により登録率（利用登録者／人口）が極端と言える程低い現状 - 市民にとって図書館の意義や市民と図書館の関係が希薄ではないかとの危惧を館長として持っている。

前期の協議会でもいろいろ話し合われたが大きな方針、具体策、優先順位等を合わせた全体のコンセンサスを得るような指針を持つ必要があるという思いを主管課長（生涯学習課長）、教育長とも共有しており、今期の協議のテーマをこのような形でお願いしたいと説明

・甲斐委員から学校関係者は県立図書館へ借りに行っている実態等について報告。更に市報等による登録率のアップについてのPRはとの質問があった。事務局から図書館だより等あるが登録率について特に市報で呼びかけたことは最近ない。又学校との連携も今後協議項目の1つとなるのではと回答

その他状況等の意見が出されたが、最終的に全委員異議なく提案通り可決された。

### 議第3号 協議会協議スケジュールについて

・事務局から基本的に年3回の開催。委員任期は2年であり遅くとも平成25年5月（出来れば24年度末までに）最終的な意見とりまとめをしたい。又、年度毎に年度毎の協議総括をしながら急ぐものは緊急又は中間意見としてとりまとめたい

また、年度1回は教育長にも参加していただき意見の反映をはかりたい。

さらに、次回10月開催までに各委員に検討事項の項目について意見交換をしたうえで事務局として項目を提案したいと説明

・大林委員から学校、特にPTAとの連携を図るべきであり具体的に各種会合がたくさんあるのでそこで図書館のPRをとの意見があった。

・高橋委員から学校とネットワーク（特に蔵書）を構築することで相互利用が促進されるのでその点も視野にいれたらとの意見が出された。

その他意見が出たが原案の通り全委員異議なく原案通り可決さ

れた。

議第 4 号 平成 22 年度別府市立図書館運営状況について

- ・ 配布した平成 23 年度図書館要覧や資料による統計数値に基づき説明。22 年度には登録率が低いのが 10% 台になった。蔵書が図書購入費の補正等により 15 万冊を超えた 等
- ・ 今後の協議の基礎として配布資料等をよく吟味して欲しいとの主旨で土岐会長、佐藤副会長から発言があった。  
その後、全員異議なく承認された。

議第 5 号 平成 23 年度別府市立図書館運営について

- ・ 本来であれば年度前に提案すべき、骨子が今後協議されるのに前後するものもあるが館長としての方針として別添資料により説明。大きく変化ある事業として大分大学との「ブラウズリーダ」設置と児童館での貸出文庫創出事業について説明
- ・ 立川委員からお話の会等のとりまとめ等の機能をも図書館が持つべきではないかとの意見と近年図書館は非常に良くなったとの話が出された。
- ・ 高橋委員から久しぶりに図書館に行ったが職員対応や近年の選書は良いと感じた。図書館の役割の周知方法として「交通安全教室」の様な形で学校で「図書館教室」をやったらどうか、具体的には各学校で職業紹介の形で社会人が話をしている。そこへ司書を派遣して図書館の利用等についても話をしたらどうかとの意見が出された。登録もそこで PR をとの事であった。
- ・ 穂吉委員から学校との連携に関連して各図書館には各々の特色等がある。それを活かす形での連携を行うべき、学校も地域との連携を考えている。また、現在「青空文庫」に代表されるように電子書籍が古いものでは（著作権 50 年）広く展開されている。それらも含めて検討すべきとの意見が出された。  
最終的に全員異議なく原案通り承認された。

以上により今回の全ての協議事項は終了した。

(配布資料)

- ・平成 23 年度第 1 回別府市立図書館協議会 (議案)
- ・別府市立図書館協議会参考資料
  - ・関係法規
  - ・別府市総合基本計画と図書館
  - ・「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」報告案  
(「これからの図書館の在り方検討協力者会議 H22 年」)
  - ・同基準案
  - ・旧告示による基準
  - ・県内及び人口類団都市図書館状況 (H22)
- ・平成 23 年度図書館要覧

(その他)

- ・取材マスコミ
  - ・大分合同新聞、今日新聞